NPO アジア金型 NPO アジア金型産業フォーラム◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

自動車の EV 化により「車体構造」は変わるのか

～フレームとパネル等の車体軽量化への動向と課題～

リンツリサーチエンジニアリング㈱社長　小松　隆

欧州連合（EU）が 7 月 14 日、2035 年にガソリン車の新車販売を、ハイブリッド車（HV）も含めて事実上禁止する案を発表した。我が国では 7 月 16 日にホンダの三部社長が“脱エンジン宣言”を出す等世界の EV 化は急速に動き出すことになった。

これまでのガソリン車の部品点数や部品の種類は EV 化により、どのような変化が起こり、また課題は何か、今後求められる自動車の無人運転のためのソフト開発やセンサー、動力であるバッテリーが追加されてゆく中での自動車の車体構造の変化の動向と課題も同時に浮かび上がっている。

今回、かつてホンダの車体開発等に携わった後、慶応義塾大学特任教授で自動車関連の研究も行い、2010 年に技術コンサルタントとして電気自動車開発支援活動を行っている小松隆講師に標題のテーマについて、講演をお願い致しました。

（1）自動車の車体構造
（2）車体に求められる機械的性能
（3）EV 化による車体の機械的性能への影響
（4）EV 化により自動車の車体は変わるのか
（5）EV 化部品のフランジ付き熱間ガスブロー成形の紹介

・日 時 2021年09月29日（水） 16時～18時
・会 場 ZOOM による講演会
・申込はこちらへ ・メール info@npo-admf.org
(1)氏名 (2)社名/所属 (3)アドレス (4)e-mail(5)会員/非会員(6)電話/FAX
★定 員 100 名
★参加費 ＊会員は無料 ＊非会員（年会費として¥5000/4 月～3 月）
・入会届 年会費 http://www.ido21.com/mm//21.05.13nyukaihyou.pdf
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆NPO アジア金型産業フォーラム